

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 27 2011年3月1日 発行



“エコな～らライフ宣言” 植樹ツアーを実施しました



去る平成22年11月14日(日)奈良県立野外活動センターにおいて平成22年度奈良県環境県民フォーラム事業の「植樹バスツアー」を実施しました。

この事業は4～9月の間に「県民によるエコな～らライフ宣言」をしていただいた県民の皆様の宣言総量

(CO2削減総量)に応じて植樹を行うもので、今年度も1000な～らあたり1本の予定で「エコな～らライフ宣言」を募集し意識啓発活動を展開してまいりました。

その結果、301世帯、23,381な～らの宣言があり、23本の植樹をおこなうこととなりました。

宣言された方々に「植樹バスツアー」をご案内し、応募された9組26名の方々とともに、奈良交通(株)さんの貸切バスによりJR奈良駅～近鉄奈良駅～天理駅を経由して奈良県立屋外活動センターに到着。

冒頭、奈良県環境県民フォーラムの松村代表から「今回の植樹は宣言されたCO2の削減量(な～ら)に応じて行うもので、今回は多数の方々に宣言していただいた。家庭での省エネ活動は地味で中々実感できないものではあるけれど、一人一人の小さな積み重ねを続けていくことが大切」との挨拶の後、植樹を開始。当日の天候と気温を心配しましたが、植樹の際は晴れで少し肌寒い中、参加者全員で手分けをしながら「ツガ、ウラジロガシ、スタジイ、ツブラジイ、マテバジ、オオモミジ、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、ヒメシャラ、ムベ」を楽しく植樹をすることが出来ました。

その後、野外センターのスタッフの指導による自然素材を使ったクラフト作り体験に挑戦。参加者の皆さんは木々の切れ端、松ぼっくり、木の実を巧みに組み合わせ、それぞれ個性豊かな作品を作ることが出来ました。



昼食の後、もう一つのメイン行事の「バームクーヘン作り」に挑戦しました。これは、炭起こしから生地作りまで参加者で行うもので、準備段階からあーでもない、こうでもないと賑やかにスタート。長めの竹串に生地を塗りつけ炭火にかざしクルクルと回し、焼ければまた生地を塗り炭火にかざし…を繰り返して、完成すれば洋菓子店で見かけるバームクーヘンが出来上がると思いきや…



でこぼこいびつなオリジナルクーヘンの出来上がり。でも味は最高だ！！

昼食後のデザートでおなかも満腹のところ野外センター職員の方のご案内で裏山の散策、自然観察学習体験に出発。ぽかぽか陽気の中、木々の説明やエビフライ(リスが松ぼっくりを食べた後)の発見や展望台での眺望に歓声を出しながら帰路のバスへ移動しました。



秋の一日有意義に過ごすことが出来、参加者からも「また来年も参加したい」とのお声も上がっていました。参加された皆さん本当にお疲れさまでした。(大阪ガス 松本)



※本事業は瀬戸内オリーブ基金の助成を受けて実施しました。

今年もやります！



今年も4月1日より、エコな～らライフ宣言の募集を開始します。
宣言の締切は9月30日。今年も是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！
宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 宣言 web サイト(4月1日オープン)から宣言



エネルギー分科会

エコクッキング教室開催 鍋帽子で手軽にエコ

1月20日(木)橿原市保健福祉センターで、エコについてのお話と鍋帽子を使った料理実習を行いました。

今回も講演と調理実習の講師を「奈良友の会」の皆さんにお願いし、橿原市環境政策課の方には会場準備でご協力いただきました。

調理実習の前に、「奈良友の会」さんから『家庭でできるCO2削減～ちょっとトクするエコの話～』と題したエコ講座を開催、家庭のCO2排出量がどの程度か、光熱費の領収書からCO2排出量を計算する方法、家庭のCO2を減らす工夫など「奈良友の会」さんでの実践経験をもとに講演をしていただきました。

調理実習では、鶏手羽元のさっぱり煮、茶碗蒸し、野菜スープ、ぜんざいを作りました。5分～10分沸騰させただけで、鍋をコンロから下ろし、後は鍋帽子をかぶせて保温しながら煮込みます。参加者の皆さんで試食をしましたが、鍋帽子のおかげで、料理は熱々で、鶏手羽元もやわらかく味がしみこんで大変おいしくいただくことが出来ました。ほんとに鍋帽子は、省エネで、手間もいらずで重宝ですよ!!

参加された方はじめ環境フォーラムのメンバーも、調理を通して家庭で実践できるエコな取り組みを学習し、改めてCO2削減の必要性を認識しました。

また当日は、奈良テレビの取材があり、その日の県政フラッシュで紹介されました。

(関西電力奈良支店 北)



平成23年度 総会のお知らせ



日時：平成23年4月19日(火) 13:00～
場所：奈良県文化会館集会室 A・B
プログラム：総会

記念講演会

講師 近畿大学社会総合学部教授 久隆浩氏
演題 **環境づくりの環を拡げる**

地域市民活動など今後の活動の参考となる事例についてご講演くださいます。



新入会員の紹介

新入会員として
近鉄ケーブルネットワーク
(KCN)

佐藤薬品工業
三和澱粉工業
の3社をお迎えしました。

賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

大和の国・菜の花エコプロジェクト

菜の花だより 菜の花から つながる・広がる！人の輪・循環の輪！

大和の国・菜の花エコプロジェクトも6巡目が始まろうとしています。皆さんもお好きなフィールドにぜひご参加ください。

奈良フィールド(北永井7a、佐保山7a) NPO 法人宙塾 Email: ohzorajuku@gmail.com FAX: 0742-24-2258

- ・4月17日 北永井フィールドで菜の花まつりを行いました。菜の花観察、菜種油による菜の花や野草の天ぷら、北永井町自警団による焼きそば提供、太陽熱などエネルギーの学習・実験、手作りゲームと同時に、森林学習として皮むき体験・展示ルーム見学など、豊富なメニューに参加者は大満足でした。ナルク奈良の協力を受けて、間伐材を利用した環境学習ステーションの整備を行うことができたため実現しました。
- ・奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)として、東市小学校が興福寺に、六条幼稚園が薬師寺に菜種油を灯明油として奉納。さらに同幼稚園は東大寺へ、鼓阪北小学校は春日大社と東大寺への奉納が予定されています。鼓阪小学校も今年菜の花を植えます。NASOの活動として富雄北幼稚園の菜の花PJも支援しました。



環境学習ステーション完成式(北永井菜の花祭り)



油搾り体験の様子



世界遺産学習として菜種油奉納(興福寺)

田原本フィールド 10a NPO 法人ほっとねっと TEL・FAX:0742-94-6800

5月14日、4回目の菜の花まつりを磯城野高校で開催しました。まず始めは、高校で実習用に飼われているヤギなど動物とふれあいタイム。次が菜種油を使った料理の試食。昨年の搾油量が少なかったため、今回は御所市の「菜の花ぷろじェくと」から菜種油を1本分けていただき、野草天ぷら、米粉ドーナツ、鶏肉を揚げて出すと、いっぺんになくなりました。その後、コープ自然派によるナタネの「遺伝子組み換え実験」の実演と解説。私たちが栽培したナタネや、県内の他の場所から採取したナタネからは「遺伝子組み換え」のものは見つかりませんでした。輸出食材が陸揚げされる港付近や、流通経路の道路端からは遺伝子組み換えの植物が見つかるといいます。そんな説明に参加者一同興味津々で聞き入っていました。その後、5月末に刈り取りをし、高校で干し、6月9日に田原本北小学校で脱穀作業を行いました。刈り取り後、今夏の畑の使い道は3分の2を水田に、残りを雑穀・アマランダス、大豆の栽培と、県特産品である葛の他の作物を荒らさずに量産する試験栽培を始めました。



遺伝子組み換え実験(磯城野高校にて)



脱穀(田原本北小)



田んぼの様子

天理フィールド(樺本町2a)環境市民ネットワーク天理 事務局長:中島 欣成 電話 090-3487-9556

前年の天理市竹之内町における菜種の連作障害を避けるために、平成 22 年は市内樺本町の私有地を使って栽培をしました。ポット苗を 10 月に植え付け、平成 23 年 6 月 3 日に刈り取り、同月 25 日に脱穀しました。その結果、約 20kg の収穫量がありました。竹ノ内町とほぼ同じ 1 アール程度の面積でしたので大豊作と言えます。苗の植え付け、除草、刈り取りから脱穀まで、人力だけの作業で大変でしたが、今までにない豊作でやり甲斐がありました。次年度は、天理教関係の皆様が大規模の栽培をされる予定で、市内での栽培面積が増えそうです。



開花しはじめた樺本フィールド 4/17



刈り取り作業 今までの 2 倍の時間が 6/3



脱穀作業 蒸し風呂のような暑さの中で 6/25

桜井フィールド 200a NPO 法人さくurai菜の花プロジェクト Email: hideko.nishida@gmail.com FAX :0744-41-0317

毎年 4 月開催の「菜の花まつり」は、今年から桜と菜の花の「花・花フェスタ」とし、400 名以上の参加者で、狛・岩坂の里が活気にあふれた一日となり、地元の方にもこのイベントが歓迎されるようになってきました。

高家の菜の花は、写真の様に素晴らしい出来栄であったので、草取りをせずに収穫できると油断した為、花が終わったとたん草が勝ってしまい、全く収穫できませんでした。農業の難しさを思い知らされました。来年は、菜種油の新製品を考えているので、年間計画に沿って菜種栽培を実施しようと思います。

陶磁器のリサイクル事業は順調です。ただいま行政との協働について、話し合い中です！



高家の菜の花



「花・花フェスタ」和太鼓



バイオディーゼルカーの説明

御所フィールド(蛇穴8a、九品寺 30a)管理:未来の環境を考える会 市環境政策課 TEL:0745-66-1087

神話の道ともいわれる「葛城の道」にある九品寺フィールドでは、今年も見事な菜の花を咲かせました。しかし、残念ながら菜の花まつりは雨天のため中止になりました。もう一方の蛇穴(さらぎ)フィールドは最近縄文時代の遺跡などでいろいろ話題になっている場所でもあります。悠久の歴史を感じさせる両フィールドで、計 150kg の菜種が収穫できました。今後は菜の花を軸にして学校教育の中での環境教育も推し進めたいと思っております。



九品寺の風景



九品寺の風景



蛇穴(さらぎ)の刈り取り